若者・現役世代の味方 村松としたかの挑戦!

公明まちだ 2025年新春号 Komei Machida

行/公明党町田総支部 東京都町田市中町 4-8-18 TFL:042-851-8914

2025年1月から町田市で

給食費無償化の 動画はこちら



小・中学校の給食費が完全無償化



石阪市長 (中央右) へ申し入れする公明党町田総支部 (2024年7月26日)

2024年12月の市議会定例会で、202 5年1月から町田市の小中学校給食費の完全 無償化を行うことが決まりました。

これは、公明党町田総支部が訴え続けてきた「学校給食費の完全無償化」に向けて、費用の2分の1としている支援を、都が8分の7まで拡充することを受け、決定したものです。

子育て支援

- ●妊娠・出産・育児と切れ目のない支援で安心な子育てを
- ●子育て世帯への家賃負担の軽減

若者支援

- ●奨学金の減免や給付型の拡充
- ●ハローワークの充実で就労支援を推進

経済対策

- ●最低賃金の引き上げ、中間所得層の賃上げを
- ●スタートアップ企業・中小企業を全力で応援

まちづくり

- ●多摩都市モノレールの町田方面延伸
- ●町田駅の再開発を推進(映画館・文化芸術ホール)

村松としたか プロフィール

- ●1978年、町田市生まれ
- ●町田市立南第三小学校・南中学校、都立成瀬高校、中央大学二部商学部経営学科を卒業
- ●日本語教育、飲食業、美容業に従事
- ●2018年、町田市議会議員に初当選。現在2期目
- ●妻と2人の息子の4人家族。原町田在住。防災士











紹介映像をSNSで公開中

実質賃金





1分で

給食と言ったら公明党!~これまでの歩み~

◎デリバリーランチ方式の再検討を提案

町田市の中学校給食は、2005年度から選択制の「デリバリーランチ方式」を導入していましたが、「給食が冷たい」などを理由に、申し込み状況 (喫食率) が低い状況にありました。

市議会公明党は2020年9月の議会で中学校給食の提供のあり方について質問。喫食率の向上に向け、温かい給食を提供する体制づくりを提案し、石阪市長から「新たな給食の提供方法についても検討を進めてまいりたい」との答弁を引き出しました。



◎中学校給食センターを整備 2025年から全員給食が開始

2021年に中学校給食にまつわるアンケートを実施し、石阪市長に提出。そして、市議会公明党が提案した、各学校に給食室を作るのではなく、中学校給食センターを整備する方式が採用され、2025年にすべての中学校で給食がスタートすることとなりました。

◎多子世帯の支援で第2子以降の無償化を推進

市議会公明党は、少子化対策の一環として、多子世帯の経済的負担を軽減するため、 2024年4月から小中学校に通う第2子以降の児童・生徒の学校給食費の無償化を実現。さらに、完全無償化を目指し、市長に何度も給食費の無償化を要望していました。

◎小・中学校の給食費の完全無償化が実現

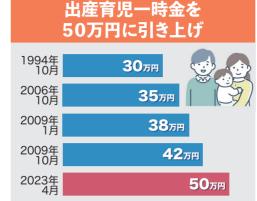
「これも公明党の実績!!」 市民に寄り添い 声をカタチに

防災・治安対策



境川の氾濫を防ぐため 金森・木曽に地下調節池を整備





子育て支援・教育の充実

















返済不要の奨学金を拡充 2025年から 3人以上で大学無償化 【奨学金を拡充】 【大学無償化制度】 ●3人以上の子どもを ●給付型奨学金対象拡大 扶養している世帯 ●貸与型奨学金の 減額返済制度の見直し ●「入学金」「授業料」を 拡充のための支援 ※留年すると打ち切り ※扶養から外れると対象外

環境対策

医療・衛生対策





休日・夜間も対応 ♯8000番 「小児救急電話相談」を開始









高齢者・障がい者支援







不妊治療を保険適用に 年間37万人が受診



東京都でもドクターへリを導入 発着可能地点は町田で10カ所



【がん対策】最先端治療の 陽子線治療装置を都立病院に



Suica・PASMOのICカードで 障がい者割の手帳掲示不要に





